

授業科目	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I				単位	4		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21304J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP5-1 DP5-2			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	本講では、先ず精神保健医療福祉の歴史的背景を解説する。それを踏まえた上で、精神科リハビリテーションの理念、プロセスを具体的事例に基いて解説する。更に相談援助の理念、プロセスや観察、測定や評価を中心に解説し、多職種協働や連携、地域支援についても解説して行く。基本的にはテキストに沿って講義を行うが、精神科医療機関において相談援助の実践をしてきた実務家教員として、可能な限り具体的事例を取り上げながら、精神医療の実際や、精神障害者の社会参加等についての講義を展開する。							
学生が達成すべき行動目標	①精神保健医療福祉の歴史的変遷を理解し説明ができる。 ②精神科リハビリテーションの理念・プロセスが理解し説明できる。 ③相談援助のプロセス及び対象者との援助関係のイメージを理解し説明できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	10	0	0	25	100	
知識・理解 (DP1-1)	15						15	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10				20	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)						5	5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①精神保健医療福祉の歴史的変遷を、理解したうえで説明できる。 ②精神科リハビリテーションの理念・プロセスを、理解したうえで説明できる。 ③相談援助のプロセス及び対象者との援助関係のイメージを、具体的に展開できる。				①精神保健医療福祉の歴史的変遷を、説明できる。 ②精神科リハビリテーションの理念・プロセスを、説明できる。 ③相談援助のプロセス及び対象者との援助関係のイメージを、説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション	講義	シラバスの事前通読	30分
2	わが国の精神保健医療福祉の 歴史と動向	講義	講義範囲の事前通読	30分
3	諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	精神保健福祉士における活動の歴史	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	精神障害者支援の理念	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	精神保健医療福祉領域における支援対象	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	精神障害者の人権	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	精神科リハビリテーションの概念	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	精神科リハビリテーションの理念、意義と基本原則	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	精神科リハビリテーションの構成と展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	精神科リハビリテーションのプロセス	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	アプローチの方法	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	疾病の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	精神科専門療法	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	家族教育プログラム	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16	精神科デイケア	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
17	医療機関のアプローチ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
18	チーム医療の概要	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
19	医療機関における多職種との協働・連携	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
20	精神障害者支援の実践モデルの意味と内容	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
21	代表的な精神障害者支援の実践モデル	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
22	地域を基盤とした相談援助	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
23	ケース発見	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分

24	受理面接と契約	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
25	課題分析、支援計画	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
26	支援の実施と経過の観察	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
27	効果測定と支援の評価	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
28	終結とアフターケア	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
29	面接を効果的に行う方法・面接技法 スーパービジョン、コンサルテーション	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
30	まとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉士の国家試験指定科目であることから、「精神保健福祉に関する制度とサービス」、「精神障害者の生活支援システム」、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」、「精神疾患とその治療」、「精神保健学」等の講義を既修もしくは履修中であることが望ましい。			
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『精神保健福祉の原理』中央法規 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『精神障害リハビリテーション論』中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材等／データベース・雑誌等の紹介 「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版 「精神保健福祉白書」中央法規最新版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	より理解を深めていくために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。 精神保健医療福祉に関する、学外での研修会や勉強会の情報を提供しますので、興味のある学生は利用してください。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポート、授業貢献度にて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			

